

いよいよ中学生

2019年(平成31年)3月9日(土曜日)

久御山中学校

1000株春の彩り

生徒と保護者 花いっぱい運動

久御山中学校と同校PTAが連携したボランティア活動「花いっぱい運動」が6日、校内であり、生徒と教職員、保護者らがスクラムを組んで花苗の植え替え作業などを行った。学期末の恒例行事で、体育会系・文化系のクラブ員や有志ら計約200人と、PTAの関

係者らが参加。今回は花苗を1000株に増やし、ビオラ、パンジー、ノースポールなど5種をプランターや学校の外周にあしらった。軽トラで土が運び込まれる中、生徒たちは手分けしてプランターの土を入れ替えたり、中庭の一角をスコップで掘ったりし、和気あいあいとカラフルな花苗を植え付けた。



校内外の清掃活動も併せて行い、

卒業式や入学式に向けて清々しい学び舎づくりに汗を流した。

【写真】中庭にカラフルな花苗を植え付ける生徒たち

50分授業で中学生気分

久御山町3小学校

6年生が体験入学

久御山町内の小学6年生が5日、久御山中学校(南亮司校長)に体験入学し、一足早い中学生気分を味わった。

小中の接続をスムーズにしようと同校が毎年行っている。御牧・東角・佐山の3校計約

160人が参加した。全体説明会では、自転車通学時用のヘルメットの贈呈式があり、自分の命を守るために着用するよう周知

見守られながら、フェルトを素材に使ったドーナツ型の小物作りに挑戦。児童たちは、型紙に沿って切り出した生地を縫い合わせた後、丁寧に綿を詰め、フェルトの色を変えて2種の作品を完成させた。

道標(号外)

児童は国語、社会、数学、理科、音楽、体育など9教科から希望科目を選び、教科担任制で小学校よりも長い50分間の授業に参加した。このうち家庭科では18人が「マイ裁縫セッ



家庭科でドーナツ型の小物作りに挑戦する児童たち